

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
柔道整復学科・夜間部	2年	1期	佐藤 義裕			○	
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		座学	1	10		
科目概要							
柔道整復師として必要な、頭部・胸背部の骨折・脱臼・軟部組織損傷についての知識を学ぶ。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師として頭部・胸部の疾患に対し正しく対応するために、解剖・機能・病態・後療法等に必要な知識を習得するとともに、それに必要な臨床的態度等も身につける。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1.頭部・胸部の解剖と機能を把握できる。 2.患者の病態から該当疾患を推察できる。 3.適切な整復・固定・後療法を実施できる。 4.医療者として相応しい態度を身につける。					
履修に必要な予備知識や技能							
講義内でも復習しますが、解剖学の教科書を中心に、頭部・胸部の解剖学的構造や特徴の予備知識が必要です。参考書なども活用してください。							
教科書・参考書							
柔道整復学・理論編 改訂第6版 南江堂							
受講上の注意							
講義範囲の教科書は一回でも読んでおいてください。理解が深まります。また復習も必ずしてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90					10	100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	頭部の損傷①				P171～	柔道整復学・理論編(第6版)	
第2回	頭部の損傷②				P175～	"	
第3回	頭部の損傷③				P180～	"	
第4回	頭部の損傷④				P182～	"	
第5回	頭部の損傷⑤				P184～	"	
第6回	頭部の損傷⑥				P187～	"	
第7回	胸・背部の損傷①				P191～	"	
第8回	胸・背部の損傷②				P198～	"	
第9回	これまでの復習						
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
・臨床経験:41年間(専門学校附属整骨院4年、整形外科6年、開業31年) ・柔整教育歴:20年(専門学校17年、大学3年)、柔道整復実技認定審査員(10年)以上の経験より柔道整復理論について講義をします。							
メールアドレス							
sato-t@nihonisen.ac.jp							

50

78

令和4年度 授業計画書(シラバス)

シラバスの記入について
<p align="center">実務経験</p> <p>本科目に関連のある実務経験をお持ち場合は○を入力してください。 ○の場合は下部の「実務経験と本講義の関連について」欄に詳細を入力いただきます。</p>
<p align="center">科目概要</p> <p>柔整師、鍼灸師になるにあたり、この授業の必要性や、概要について簡潔にご記入ください。 左記は今年度、記載いただいた内容を掲載しております。</p>
<p align="center">目標</p> <p><一般目標> 本授業科目を履修することで期待される成果をご記入ください。 (例)～できるようになるために、～の能力を修得する。 ～できるようになるために、～の技術を身に付ける。 ※本校シラバス作成ガイドラインをご確認ください。</p> <p><到達目標> 一般目標を達成するために、知識・技能・態度面においてどのようなことができるようになることが望ましいかをご記入ください。 ・付番をして箇条書きでご記入ください。(1.、2.) ・具体的にご記入ください。(～ができる、～が言える) ・現実的な内容でご記入ください。→学生はSBOを読むことにより、その授業における学習のポイントをつかむことができます。 ※本校シラバス作成ガイドラインをご確認ください。</p>
<p align="center">履修に必要な予備知識や技能</p> <p>科目の修得にあたり、必要な予備知識・技能・心構えなどをご記入ください。</p>
<p align="center">教科書・参考書</p> <p>授業で使用する教科書をご記入ください。 また、参考書がありましたらご記入ください。</p>
<p align="center">受講上の注意</p> <p>受講にあたり、予習、持ち物、服装、態度等、学生に伝えることがありましたらご記入ください。</p>
<p align="center">成績評価方法</p> <p>本授業の評価割合を合計が100になるように設定してください。 評価方法について詳細・留意点がある場合は下段の空欄に記載してください。</p>
<p align="center">コマシラバス</p> <p><授業内容> 各回の授業スケジュールと内容の概要が分かるようにご記入ください。 小テストやチェックテストを行う場合も併せてご記入ください。</p> <p><教科書> 上段の「教科書・参考書」欄に記載した教材の該当ページを記入してください。</p> <p><教材・持ち物> 上記教材以外に用意するものがあれば記入してください。 白衣、患者着等もこちらに記入してください。</p>
<p align="center">実務経験と本講義との関連について</p> <p>※こちらは、上段の実務経験欄を○とした方のみご記入ください。 実務経験を活かして授業を行う際に、どのような実務経験を持つ教員が、どのような授業を行うかを記載します。 実務経験の長短は不問で、過去の経験でも構いません。 (例)△△△年間の携わった実績を踏まえ、◆◆の実務者の観点から、○○について講義する。</p>
<p align="center">メールアドレス</p> <p>学生が授業で分からないとき等に質問できるようにu@u-honisen.ac.jpのメールアドレスを記載します。</p>

回	日付A	日付B
第1回	2021-06-25	2021-06-25
第2回	2021-07-02	2021-07-02
第3回	2021-07-09	2021-07-09
第4回	2021-07-16	2021-07-16
第5回	2021-07-30	2021-07-30
第6回	2021-08-06	2021-08-06
第7回	2021-08-20	2021-08-20
第8回	2021-08-27	2021-08-27
第9回	2021-09-03	2021-09-03
第10回	2021-09-10	2021-09-10

令和4年度 授業計画書(シラバス)

学校日誌	
授業内容	変更点、変更理由
頸部の損傷①	
頸部の損傷②	
頸部の損傷③	
頸部の損傷④	
頸部の損傷⑤	
頸部の損傷⑥	
胸・背部の損傷①	
胸・背部の損傷②	
これまでの復習	
定期試験	